



ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2005 vol.2

今年の清里は11月6日です

実行委員長の豆蔵さんから清里ミーティング情報の第一報をおとどけします



ついに新型の予約も始まり盛り上がってきた中、今年も清里ミーティングに向けての準備は始まっています。とは言え、決定しているのは日程と場所だけ。まあ、例年のことですが…。そんなわけで今年も昨年同様に11月の始め、11月6日の日曜にキープ協会 清泉寮で行います。

今年の清里では発売2ヶ月を経た新型がどれくらい集まるのか、気になるところです。しかし、やはり大半の皆さんとしては新型が乗り替えるに値するものなのかが気になるところでしょう。そのところは例年通りのトークショーでゲストからじっくりと聞きだしてみましょ。

え？ゲストは決定しているのかって？！もちろんこの時期ですからまだ決まっていません。(爆)

でもこう言う節目の年ですからきっと…。それに数年越しでお約束している方も。…と、紙面を借りてさりげなくお願いしてみたりして。

ともかく今年の清里も目が離せない…はず。さらなる詳細は次回、告知号で。 (実行委員長 豆蔵)

ERFC PICNIC 2005 開催しました

~UNDER A BLANKET OF BLUE~

去る5月14日(土)、山梨県勝沼ぶどう郷にて ERFC PICNIC 2005 が開催されました。

メンバーとその家族十数名が集まり、それぞれに持ち寄った料理や、会場となった観光ぶどう園「展望園」でご用意いただいたBBQを囲みながら、ロードスター談義やお互いの家族の話題など、楽しいひとときを過ごしました。以下は参加者からのレポートです



ピクニック参加記 その1 ~ 韮崎市からご家族で参加の森本さんより ~

ERFC 2005 ピクニック参加してきました。

勝沼展望園は我が家からとてもアクセスの良い場所で気軽に参加しました。清里ミーティングに続きERFCのイベントに参加するのは2回目になります。清里ミーティングがとても良い感じだったので、家内も一緒に家族全員で参加しました。スタッフの皆さんも子供さんをつれてこられていたので、息子もとても喜んでいました。家族全員の参加なので、ロードスターはお休みです。家内は「2台で行けばいいやん」と言ってくれたのですが環境負荷とか先方の駐車場事情を考えると1台のほうが良いですね。(清里はとても近いのでミーティングには2台で行きたいのですが地球さんごめんさい) さてピクニック前日山梨県は雨だったのでお天気をとても心配しました、でも当日は快晴! 暑いぐらいでした。現地到着するとBBQの準備が始まっていました。一生懸命に炭火をおこしたり、テーブルをセットしたり、やっぱりお肉は炭火焼きが一番ですね。



息子もお肉が焼けるのが待ち遠しいようす。

ワインをいただき(帰りの運転は家内です)お肉を食べ、ひと心地ついてホッとして子供達が遊んでいるのを見ながら、ロードスターも16年、その間にオーナーも結婚して子供ができて家庭を持った人もいっぱいいるんやろうな(私の場合は息子が生まれたのでオーナーになったのですが、息子とロードスターは同級生です)家族持ちの私としては、大好きなロードスターを介して家族で参加できるイベントはとても歓迎です。それにロードスターのオーナーはジェネレーションギャップが無いですね。楽しい時間はアツという間に過ぎ、食べる事に一生懸命で新型ロードスターの話をしなかったな。

皆さんは新型ロードスターいかがですか？ともあれ帰りの車の中で息子が「今日は良い一日だったね」と言ってくれたのでとても幸せでした。それとヒラグチさんのスパゲティとてもおいしかったですよ。

(山梨県 森本真至)

ピクニック参加記 その2 ~今回参加者中 最年長の伊澤さんより~

ピクニックはAM11:00頃から開始との事だったので八王子インターまでの16号の混雑を考え、横浜の自宅を7:30に出発。案の定16号は慢性的な渋滞で、中央道のSA、PAでゆっくりするつもりが時間に終わる結果になってしまった。当日、横浜は曇り。少し寒かったが天気予報では山梨は晴れで気温24度とのこと。半信半疑だったが中央道で山梨に入ったら予報が大当たり。スタッフの方からFAXしていただいた案内図を基に且つ沼インターで下り、ほんの5~6分で今回の目的地、勝沼ぶどう郷、展望園に到着。今回のピクニックにはファンクラブ通信2005 VOL1での案内を拝見し、時季も良いので参加させていただきました。参加人員は10数名と小ぢんまりでしたが、お子さんが多く和気藹々。先に着いていたスタッフの方がBBQの火起こし等、忙しく準備されていました。この広いぶどう園では種無し葡萄を作る為、一房一房にピンク色の薬をつける作業をされており、私にとって初めて見聞きするものでした。午後は気温も上がり暑いくらいで、まさにピクニック日和。お子さんたちと一緒にBBQも食べきれない量でした。各自、自己紹介があり、若い人の中で私のような高齢者は場違い?と思いましたが、ロードスターの好きな人は年配者も多いと自分に納得させました。こういうピクニックなら孫を連れて来ても良かったかなと思ったくらいです。スケジュール化された集いが多い中で、今回のような車を離れたアットホームなピクニックの参加は初めてで楽しかったです。久しぶりにのんびりしました。高速のそばなのに静かで景色も良く、会場の場所も正解だったと思います。お客さんでもないのにBBQの準備や後片付けもせず、食べるばかりで大変申し訳ありませんでした。今回の走行距離は235km、使用車は平成8年式NA8C、ただし今後孫と参加する場合はミニバンにします。又、機会があったら是非誘ってください。スタッフの方々、本当にご苦労様でした。



(横浜市 伊澤洋一)

ピクニック参加記 その3 ~「火宅を呼ぶ男」J58Gの中澤さんより~

5月連休の次の休みの14日、ERFCのピクニックに行ってきました。当初は古女房を連れて行く予定でしたが、「朝起きるのが早い」とか、四の五の言うので単独で行くこととしました。そこで女房が行かぬがこれ幸いと、独身の女性と同行するべくいろいろ画策しましたが急すぎて実現しません。次回こそと思う次第でした。今回の場所を調べると、すぐ近くに遺跡「勝沼氏館」があるではないですか。当方の車以外の趣味であるライフワーク、城郭史研究の上からもぜひ見ておきたかった戦国時代の武士の館跡が、公園として整備されているのです。集合は11時ですから10時に着き、1時間ほどたっぷり見学させてもらい多くの発見をいたしました。それで11時前に会場のぶどう園に着くと、ロードスターは1台きりで、なんとその他の車ばかりです。本当にここかなと降りると、パパ・ヒラグチさんが居り、やはり間違いでないことがわかりほっとしました。BBQでは皆さんの持ち寄り料理や現地で作るスパゲッティなどに舌鼓を打ちました。好天にも恵まれいい空気の中で、おいしい料理と、ゆったりした時間の流れと、心洗われる一日でした。または是非企画してください。今度こそ古女房でなく...です。



(東京都 中澤伸矢)



持続する志 ALL NEW ROADSTER 発進!



正式発表に続いて、試乗会や先行予約会などで新型「NC」ロードスターの姿が見えてきました。参加された方々からいただいた貴重なレポートをおとどけます。

ワイハでロードスター、乗ってきちゃいました ハワイ試乗会 特別レポート

トラックバックっていったい何ぞや? そんな初歩のところからはじまった新型ロードスターハワイ試乗レポーターに応募したのが、今年の3月下旬のこと。一次選考なんて通るワケないさねえ~なんてダメもとで気軽に応募したこともあって、トラックバックが分からなくてイイじゃん! って思ってた、これまた2次選考が通ってしまったから、さあタイヘン。それから1ヶ月は僕の周りの親しい友人、知人も巻き込んで、トラックバック伝道師となったのは言うまでもありません。おかげさまで、協力していただいた甲斐あって、2次選考者の45名から、幸運にも3名のレポーターのうちの1名として選ばれる非常にラッキーな結果になりました。これも、ひとえに投票にご協力いただいた、みなさまのおかげです。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

さて、ハワイに行くのに協力したんだから、プレスに書かなかつたらブッコス!? なんてブログ応援団の声も聞こえてくるので!? 書きます、いや、書かせてください!! てなワケで前フリが長くなりましたが、ハワイ島で開催された4泊6日の試乗会の様子をレポートいたします。とはいっても、もうすでに自動車専門誌などで新型ロードスターのインプレが出揃ったところなので、簡単なフィーリングをサラッと触れる程度でご勘弁を。

この新型ロードスターの試乗会は、2週間に渡ってハワイ島を舞台に世界中のジャーナリストやメディアが招待されていたもので、私たちもその一環で同じ行程をたどったものでした。ただ、メディア組とは違い、我々が参加したのは「グローバルクラブイベント」と称し、日本はもちろんのこと、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ヨーロッパなど、世界中のロードスターファンを招いた、いってみればユーザーのためだけに開催された、非常に贅沢なイベントでした。試乗の拠点でもあり宿泊地となったのは、コナ・コーストにある「フォーシーズンリゾート」。このホテルは、広大な敷地内にゴルフ場やら、リラクゼーション施設やら、とにかく敷地を出ないでも十分生活できるくらいの、滞在型高級リゾートホテルでした。さて、このイベント最大の目的である新型ロードスターに試乗ができたのは、滞在2日目になってからで、正味1日乗ったのみでした。正直、滞在日数を考えると、もっと乗っていたい!! って思ったけれど、他の日程を考えると仕方がないところなので、そこはグッとガマンガマン。先に乗れただけでも幸せモンなんですから、贅沢は言えませんしね。たった1日とはいっても、さすがに交通環境が良いこともあり、距離にして160km以上は走れました。試乗したコースはホテルがあるコナ・コーストから北を目指し、途中山間部を經由して、カメハメ八大王像があるノース・コハラ近辺で折り返すという行程。全般的に直線が多かったけれど、ほとんど信号のない空いた道で快適なクルージングが出来たので、クルーズコントロール(北米仕様はMTでも付いているんです)なんてのも有効に使えたくらいでした。新型ロードスターに乗ってスグに感じることは、決して悪い意味ではなく、オトナになったねえ~というコト。とにかく、身のこなしの軽さは走り出してすぐに体感できます。なんていうのでしょうか、サラサラと何の抵抗も

なく自然に走れると言ってよく、交差点ひとつ曲がっただけとか、普通にタウンスピードで走ってるだけで楽しい、それを感じます。結局のところ、ボディや駆動系の剛性アップにはじまって、これまで以上に重量配分や軽量化にこだわったコトにより、高いところで絶妙にバランスが取れているそんな感じです。



このテイストって、まったく同じではないけれど、NAロードスターが持っていた、身軽さみたいなものが、現代流の解釈と技術で再来したように感じた部分でした。正直、NBに移行したときに感じた、ちょっとオトナぶった突っ張った感じはまるでなく、スッキリ「ロードスターらしさ」を取り戻したとも言えます。ただ、非常にバランス良く出来ているがゆえに、その良さが分かりにくいといった部分もあるわけで、そんなところは、なんとも皮肉なところ。とまあ、まだまだ言いたいコトの1/3くらいしか話してないけれど、そろそろ紙面が尽きてきたので、この辺りで終わりにするとします。この話の続きは、機会があれば今年の清里でお話できればなぁ...なんて思っています。

(神奈川県 高根久貴)

予約会 今むかし 新型ロードスター先行予約会突入レポート その1

「10万円握りしめてここに来たなぁ」そんなことを思い出した。先日、子安のマツダR&Dで行われたNCの予約会場に行った時のこと。16年前の7月、同じ場所でNAの予約会が行われた。当時どうしても欲しかった私はディーラーでもらった事前予約の書類を持って会場へ向かった。会場に着くとそこには既にロードスターが展示されていた。かなりの人が来ていた。「なかなかいいなぁ」と"舐めまわす"ように見た後、車に乗るための順番待ち。かなり長く(に感じたなぁ、あの時は)待って運転席や助手席に座った。記憶にあるのは、私が運転席に座ったまま幌を開けようとした時、係員が飛んできて「幌を開ける時はまずリアウィンドウのジッパーをはずしてから」そう説明されて赤面したこと。そうだった！事前に色々な雑誌で予備知識を蓄えていたはずなのに実車に触れて嬉しくてすっかり忘れてしまっていた。そのあと予約の説明を受けて10万円を払って帰ってきたっけ...。そして今回、16年の間でだいぶ様変わりしていた。受付を済ませると「入場許可証」みたいなものを渡され首から掛ける。所々に立っているおねえさんに案内され会議室に入るとそこにはなんと貴島さんが！最初にイメージビデオが流れ、司会の人その日のスケジュールを説明。その後、貴島さんともうひとりの担当の山本さんがスクリーンを使って、開発のいきさつ・ロードスターへの想いなどの話をされた。結構感動してしまっただけで聞いたら一緒に行った妻もそうだったらしい。その後会場を移してのNCとの対面。確実に進化していてNAとはまったく別の車ではあったが「いい車だなぁ。」と思った。この日に予約することは出来なかったがいつかは乗りたい、そう思える車だった。16年と一言でいうが、長い年月だったと思う。16年前のあの日、1人で行った予約会。私は26歳で独り者、車の事ばかり考えていた。16年後、私は42歳で妻子を持つ身となり、3人で予約会の場にいる。自分を取り巻く環境は大きく変わり「車のことばかり」という訳には行かなくなった。でも程度の差こそあれ、やはり車のことを考えてる自分が好きだ。そしてロードスターが好きだ。

(神奈川県 前田浩一)

さっちゃんが行く 新型ロードスター先行予約会突入レポート その2

今日、新しいロードスターNCを見てきました。私はね、ロードスターは好きだけど何せ「トルク」と聞いて「コルク」の絵が浮かぶくらい車のことにはとんと疎い。だから今日NCを見に行くことになってもパソコン上で見たNCの画像に少なからずがっかりしていたこともあり「ふ〜ん。見に行くのね」程度の気持ちでした。ところが実際は予想を裏切って大きな感動を与えてくれるひとときになったのです。はじめにビデオを見たのですが、これが実にすばらしかった。上手に私の心に入り込んで「ねえねえ、手に持ったミニカーを動かすとき、ブランコが揺れた時、子どもの頃ってこんなことで感動してなかった？今だってそんな気持ちになれるんだよ。ぼく達の作った車でそんな気持ちを思い出して欲しいんだ」と映像でささやかれた感じで、見終わった後には、押し寄せた感動の波で心の中に積もっていた落ち葉が消え去っていました。この後に開発の時にあった事とか大切に考えていた事とかのお話を貴島さんという方が話されたのですが、このお話もすばらしかった。正直言って目からうろこでした。難しい話はわからないけれど、「こんな車を作りたいんだ！」という情熱を作り手みんなが共有、共感してそれをひとつの物に集結させていくひたむきな姿勢が話しの随所から伝わってきました。NCという車にだけでなくNCを作った人たちの情熱とか想いとか、実現するための努力に感銘に近い感動を受けました。ロードスターって、車で機械だけど、人が作ってるんだなぁ、色々な想いが詰まってるんだなぁって。なんかとても暖かい気持ちになりました。そして「こんな風に情熱をかけて作られた車に乗ってみたい」とも思ったのです。最近忘れてた気持ちを思い出させてもらった私です。素敵な時間をくれたマツダさんとNCに感謝いたします！さて。本物のNCにさわってみて、確かにちょっと出来すぎ君かもな、という気もしたけれど不良少年ぽかったNBよりずっと更生してて、例えるならちょっとお金持ちになったNAといったかんじでしょうか。腰痛とかにも優しい感じです。初代の予約会から16年。あの頃若かったあなた！買い替えを考えているならぜひお勧めしますよ！

(神奈川県 前田佐知子)



万博がや 地元 豆蔵さんの愛知万博探訪記

愛知万博です。愛・地球博です。開催当初こそ観客が伸びずいろいろと心配もされていましたが、その後順調に盛り上がっているようです。で、私・豆蔵の地元愛知での開催と言うこともあり、開催前のコピー「人生一度は万博だ！」のあおり文句に乗って行ってます。進行形なのは全期間券で通っているから。(爆)と言うことで、今回は万博の紹介なんぞを。さて、まずはリニモで会場に向かってみましょう。確かに電車の揺れとは違いますが、一番感じる違和感には加減速。自動運転と言うこともあり ON-OFF 制御的にはたらく上に、リニアモータにトルクがあるので意外に強烈です。でも、あんまり浮いてる感はありません。実は駅で停車している時もずっと浮いてるんですけどね。さあ、万博会場駅を降りるとすぐに北ゲート。空港のような持ちものチェックを抜けて左右に企業パビリオン。左手に人気のトヨタや日立があるけど歩いて向かうのがここでのたしなみ。もちろん係員の制止を振り切ってダッシュするなどといった、はしたない観客など存在しているようはずもない。。。さて、よく聞かれるのは「どこがおもしろい？」って質問。トヨタはロボットと自動運転の自動車使った未来的なショー。日立はVR技術をライドに乗って体感。でも、同じ先端技術なら三井・東芝館での映画出演(加山雄三と競演?!)の方が他に無い体験でもおもしろいかと。でも、企業パビリオンにこだわるとそれだけで一日が終わってしまう。万博って言うくらいだから万国の展示物も見とかなきゃ。週末には多くのパビリオンで列ができるけど、30分以上待つのはごく一部。人気パビリオンにこだわらなくても各国のお国がらを見たいと思えばけっこうどこを見ても楽しめます。展示設備に金のかかった国、そうでない国。文化中心に紹介する国、写真展示もそこそこに特産品やアクセサリーのバザーを広げる国。展示の仕方にそれぞれのお国がらが感じられます。

米国やカナダはアテンダントが陽気だし、環太平洋諸国の集まるコモン6はいつでも何かやってお祭り広場の様相。パビリオンの中も外も各国各様で、もうそれもこれもすべてまとめて万博です。もちろん森の散策や瀬戸会場もお薦めしたいが、さすがに1日で周るにはややつらいかと。この号が出る頃には終わっているけど、6月には期間限定で清泉寮のキープ協会も出展してました。キープ協会が支援しているフィリピンの山岳民族についての展示だったけど、この支援活動、実は清里ミーティングでの皆さんからの寄付金もあてられているのです。いや、はずかしながら私も今回初めてそのことを認識したのですが。そうだと知ると万博が、いや世界が少しだけ身近になった気が...(単純) 人生一度じゃなくて二度、三度でも行ってみたい? 【特別付録 秘伝ウラワザ公開】 ...と、これだけじゃなんなので裏技(?)をひとつだけ。



とりあえず、企業パビリオンを楽しみたければ開門前からゲートに並ぼう。ただし、週末はリニモで行こうとすると7時に名古屋駅を出ても乗換え待ちもあって北ゲート着は余裕の8時過ぎ。そしてその頃には北ゲートには長蛇の列。と言うことで名古屋駅を同じ時間に出るなら始発あたりに乗れるシャトルバス利用がお薦め! 東ゲートは事実上のシャトルバス専用ゲートで受け入れ開始が8時なので始発のバスならゲート先頭のチャンスが! 実は東ゲートからは入場後の移動に10分程度かかるけど、同じ時間に北ゲートに並ぶと入場できるまで何分かかるとか...。あとは人気パビリオンに並びながら、当日予約をおさえて次を目指すなりしてください。ではご健闘をお祈りします。

ひでまる会長のパンダ日記



毎年だんだん暑さが増してきているような気がしますが、みなさんお元気ですか? ぼくは早く家にエアコン買わないとヤバイです。毎朝、出かけるときにパンダに乗り込むだけでもドッと汗が出ます。パンダはエアコンないけど三角窓のおかげで走り出しちゃえばまだ風が入ってくるし、会社まですぐだからなんとかなるんですけど。でも家にはエアコンないとどーにもガマンできません。さて、新型ロードスターの予約が始まってみたいですね。最初はそれほど興味ないって言うか、自分で乗るクルマとして見るができなかったんですけど(ごめんなさい) 早くも乗った人からいろいろ聞いてるとやっぱり興味が湧いてきました。どんなクルマなのか、早く自分の目で



見て、乗ってみたいです。「乗ったら欲しくなるんじゃない?」とか言われたし。やっぱり気になる...。エアコン効くだろうし(通勤はともかく、人を乗せてどっか行くときは欲しい...) 必要十分に速いだろうし(帰省するときは45馬力はちょっと...)、屋根開くし(最近八コばっか...) 考えてみればぼくのクルマ選びの条件はほぼ満たしてるんですよ、あたりまえだけど。あとは乗ってみてどれだけ「ロードスターらしい」か、ってところでしょか。二代目になったときに乗って最初に感じた「ロードスターらしさ」は2速にシフトした瞬間にやってきました。自分で乗ってた初代と、いま思えばそこまで変わってはいなかった二代目。今度はホントに一一新された三代目、いったいどの辺がどのくらい「ロードスター」なんでしょうね。(ひでまる)

おたより 昨年の清里に「書」をご出展いただいた青木さんからお便りをいただきました

スタッフの皆様、清里ミーティングではお世話になりました。「ロードスターなんでもコンクール」に「書」を出品致しました青木友和です。ERFC NEWSLETTER に清里の思い出と作品を掲載いただきありがとうございました！まさか、横一杯とは... 驚きました。もちろん書道の仲間と師匠には、賞品にいただいた福田さんのイラストとNEWSLETTER を携え、清里での結果報告をいたしました。師匠には「私の概念を超える展開に、書の存在価値について思いを新たにする良い機会でもありました」との言葉を頂きました。これもROADSTERに乗っていたからこそ、そしてERFCのスタッフの皆様がイヤな顔をせず、大きな作品の搬入を許可してくださったからだと思います。(笑) さて、私の所属しております「日本究龍(きゅうりゅう)書道会」の会報にROADSTERと「だれもがしあわせになる」について書きましたのでぜひ読んでいただきたいと思います。読まれて書道に興味を持ってくださればうれしい限りです。また、同書道会会長の松浦北龍先生もクルマ好きで、ROADSTERに以前から興味を持たれていたそうです。やはりオープンカーというものは感性が磨かれる乗り物だと体感いたしました。もっと感性を磨いて今年の「なんコン」にも出品したいと思います。願わくばROADSTERファンの間で「書」というジャンルが確立すればと思います。(神奈川県 青木友和)

というわけで、青木さんの書道会会報に掲載された原稿を転載させていただきます。

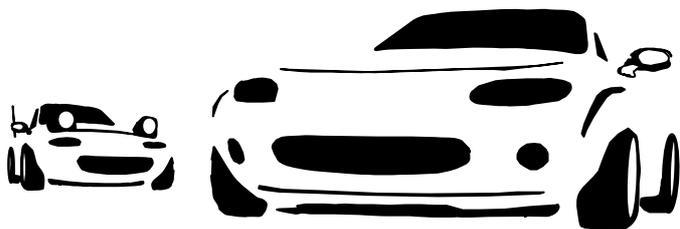
「だれもがしあわせになる」 青木友和(日本究龍書道会会報「龍 聲」第9号 より)

書を始めて3年目。以前から自分らしい書表現したいと思っていた。モチーフは「ロードスター」というオープンカー。このクルマは、能面をイメージした外観、茶室の機能美を追求した室内、走りでは流鎬馬の如く人と馬が対話する「人馬一体」感を演出している。また、象徴としてのエンブレムには - ROADSTER - と毛筆帯でレタリングされている。書作品にするには十分な日本的要素、そして自分の心を捉えて離さない一文に惹かれ、題材はロードスターのカタログのコピーと決定した。とは言うものの、突飛な発想への冒険は大きな勇気を必要とし、同時に認められるか否か戦々恐々としていた。このような境地の中、ロードスターに乗る友人がレースに初出場すると聞き、サーキットへ応援に向かった。その挑戦する姿に触発され、私もスタートラインに立った。そして、北龍先生から「とっておき」のお手本が届いた。その想像を遥かに超える書の世界観に浸り必死に筆を執った。そんな試行錯誤の過程で、自分の想いを表現できる楽しさや、着々と作品が仕上がっていく実感に喜びを発見する自分がいた。時は過ぎ仲間の熱き声援に支えられ、ついに出品の時を迎えた。「神奈川県筆友書道連盟公募展」会場に陳列された作品中クルマを扱ったものは唯一であり、心なし目立っているかな?と内心照れていた。結果は「平塚商工会議所会頭賞」を頂いた。無謀とも言える挑戦を好意的に受け入れて下さった審査の先生方、更には題材を限定しない書の懐の広さに感動を憶えた。その後、この作品をロードスターに乗る多くの仲間披露する機会を得た。書の楽しさや世界観を伝える事ができ、今まで以上に書とロードスターが好きになった。また、この作品の前には多くの笑顔があった。ロードスターのカタログには次の一文がある。「だれもがしあわせになる。」と。



総力特集

ERFC KIYOSATO MEETING 2005 告知号



ご期待下さい!

淑女通信 ~れでいすつうしん~

最近、あちこちで目にするのが新型ロードスターの話題...もあるけどやっぱり「クールビズ」。環境庁主導で始まった、ネクタイ・ノージャケットで冷房控えめにして夏を乗り切ろうという運動である。どういう形にせよ、今や亜熱帯の日本の夏でも上着とネクタイを手放そうとしなかった男性諸氏を軽装にして、寒い冷房をゆるめてくれた功績は大きいと思う。良く行くユニクロがふだんは見かけないようなおじさま方で混み合っても、少々「むむ？」というような着こなしてあっても、誰でも最初はぎこちないものにとこやかに眺めていられるというものだ。しかし、そう言ってもいられないおじさま方というものも存在する。毎日のようにTVに登場する政治家の皆さんだ。立場上、率先してネクタイとジャケットを捨てた人たちののだが、だったらもうちょっとなんとかならないものか。今包装を解いたばかりです、といわんばかりに折りシワそのままを着てる人あり、サイズの合わないシャツをあるうことか裾をひらひらさせて着てる人あり、いやもう秘書雇う余裕があったらスタイリスト雇えよ！と言いたい人ばかり。今までいかにスーツでごまかしてきたかがよく判る。海外のTVにだって映る可能性が十分ある人たちののに、これではマズインではないのか。ピーコに踏んづけられても文句言えないぞ。昔はファッションの先進国と言えばフランスとイタリアが相場だったが、今や日本も負けてはいない。素晴らしいデザイナーを輩出し、若い世代の独特の着こなしは斬新さを持っている。(時々変だけど)そういう国の政治のトップ近辺にいる人たちがセンスのかけらもないようでは正直ガッカリだ。別に(どっかの雑誌ではないが)「モテモテオヤジ」になってくれというわけではない。センスのあるなしも関係ない。最低限の注意くらいは払っていただきたいのである。げげ、とたじろいだ方もおられるかも知れないが、ご心配無用。あなたはまずTVには映らない。あ、そういうことじゃないと。しかし難しく考える必要はな一にもない。合言葉はひとつ、「他人のふりして我が振り直せ」。街でいるんな人を見る。店のショウウィンドウもいつもよりちょっと注意して見てみる。そうこうするうち「アレはちょっとおかしいな」とか「あんな色づかい、組み合わせは好きだな」というものが出てくる。それを自分に適用すればいいだけの話なのだ。そして必ず自分の着る服は自分で選んで買うこと。見立ててもらうのは大いに結構だが、決めるのは自分。試着できるものは必ず試着し、無理なら体に当てて鏡をチェックする。それだけでかなり違うものだ。夏が終わるころには、日本の男性がみんな今より少しお洒落になっているかも...ということは、女性ももっと磨きをかけないと置いてかれちゃうよ！がんばりましょ。

(つのやまけいこ)

日々是開幌

新型ロードスター、いいみたいです。いろいろなところからそういう話が聞こえてきています。実は今回、あるディーラーさんの計らいで横浜の予約会に参加させていただきました。予約会のはじめにCIのイメージクリップが上映されましたが、結構エモーショナルで思わず涙腺が刺激されてしまいました。(もし可能なら清里でみなさんに見ていただく機会を作れないかと思ったほどです。)また、貴島さんはじめ関わった方の気遣みみたいなものがひしひしと伝わってきて、新型の走りを味わいたいという気持ちが一層かきたてられました。その場で即予約というわけに行かない事情が恨めしかったのと同時に、早く「試乗」以上に本格的に乗ってみたいと思いました。NBの後期型が発表された後にはマツダレンタで特別企画の体験試乗レンタルが実施されたので利用してみました。今回もそういうの、やってほしいですね。ところで、このたびはピクニックに大勢ご参加いただき企画者として大変うれしく思っております。また、会場をお借りした展望園さん、いろいろご面倒をおかけしましたがありがとうございます。この場を借りて改めてお礼申し上げます。これに懲りずこれからも利用させてください。それから、ピクニックはまた時期を見て開催したいと思いますのでしばらくお待ち下さい。そのうち、焚き火を囲む「ファイヤーミーティング」とか、ロードスターで峠走りをした後、山峡の温泉に集合してなごむ「スパ・ミーティング」なんていうのもやってみたいと思いますが、いかがでしょうか？ご意見ご希望などがありましたら、下記へお願いいたします。さあ、次はいよいよ「清里」のご案内です。次号では実行委員長、豆蔵さんが全力を挙げて(もちろん私たちスタッフも力を合わせて)皆様をミーティングへ誘う予定になっておりますので、期待してお待ちください。(パパ・ヒラグチ)

ERFCに対するご意見・ご希望・質問等は下記宛にお願いいたします。
またNewsletterへの投稿もお待ちしています。
近況報告・愛車自慢など 写真やイラストでもOKです。



ERFC Newsletter
ユーノスロードスターファンクラブ通信

2005 Vol. 2

2005年 7月 吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp